ハザード情報について

土砂災害警戒・特別警戒区域

土砂災害防止法に基づき指定された区域

【区域の定義】

急傾斜地の崩壊、土石流、地すべりが発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域（第６条）

※警戒区域と特別警戒区域の説明は６ページを参照。

この防災マップで示している土砂災害警戒・特別警戒区域のハザード情報は、「土砂災害危険箇所」のうち、福島県が土砂災害防止法に基づき、令和3年12月までに指定・公表した区域図になります。

洪水浸水想定区域

【説明】

（１）この防災マップで示している洪水浸水想定区域のハザード情報は、阿武隈川、摺上川、東根川、古川、伝樋川、広瀬川の洪水予報区間及び水位周知区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した区域図です。

（２）この洪水浸水想定区域は、指定時点の阿武隈川、摺上川、東根川、古川、伝樋川、広瀬川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により阿武隈川、広瀬川等が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（３）なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

家屋倒壊等氾濫想定区域

【説明】

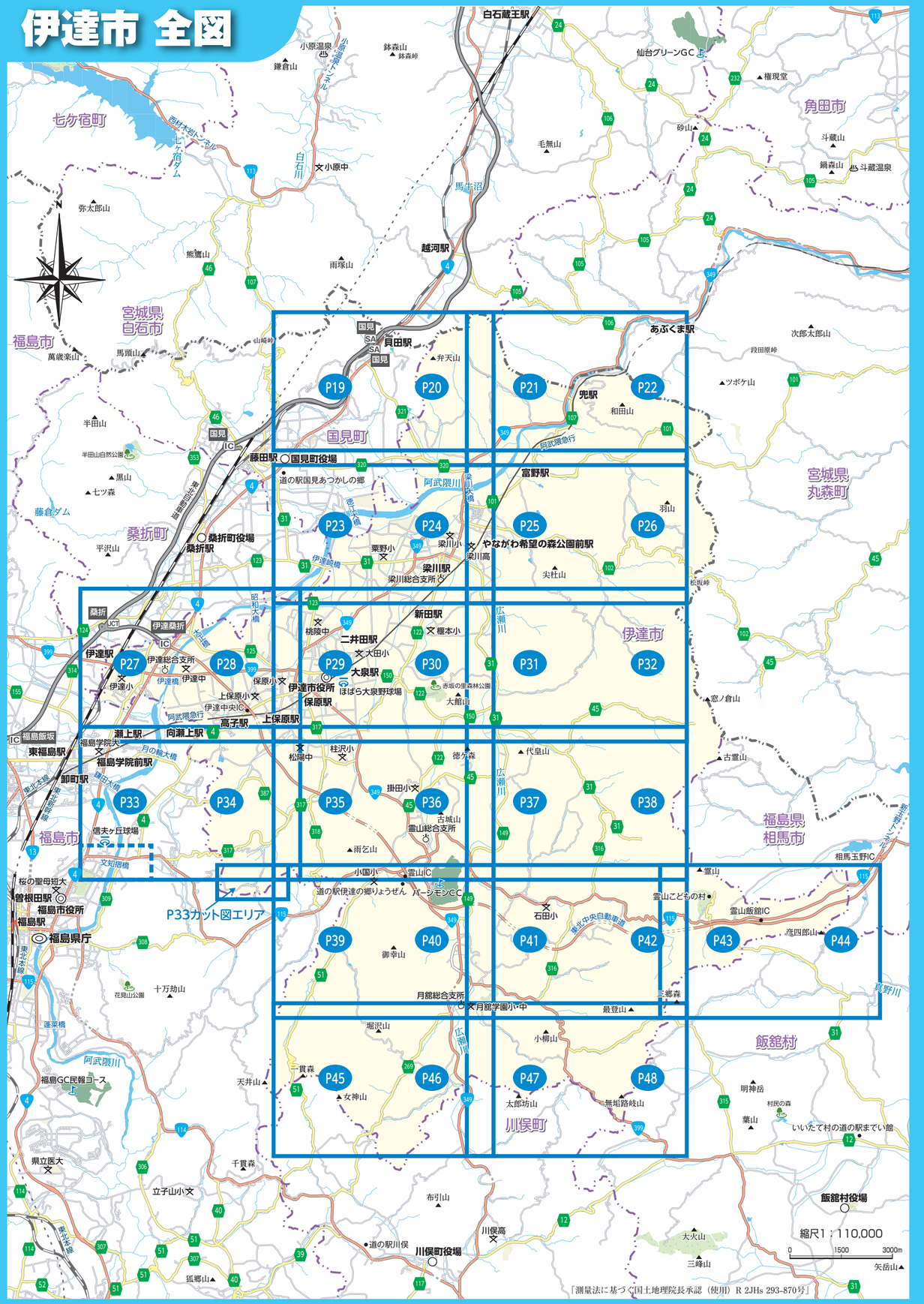
（１）この防災マップで示している家屋倒壊等氾濫想定区域のハザード情報は、阿武隈川、東根川、古川、伝樋川、広瀬川の洪水予報区間及び水位周知区間について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域を表示した区域図です。

（２）この家屋倒壊等氾濫想定区域は、指定時点の阿武隈川、東根川、古川、伝樋川、広瀬川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により阿武隈川、東根川、古川、伝樋川、広瀬川の河岸の浸食幅及び氾濫した場合の氾濫流の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（３）なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に指定されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。

（４）また、この家屋倒壊等氾濫想定区域は、一定の仮定を与えて算定しており、（３）の条件に加え、倒壊等する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫計算をしていること、個々の家屋の構造・強度特性等の違いから、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意して下さい。

洪水浸水想定区域の指定又は家屋倒壊等氾濫想定区域の公表に係る基本事項等

河川等の名称	阿武隈川水系 阿武隈川	阿武隈川水系 摺上川ダム下流	阿武隈川水系 広瀬川	阿武隈川水系 東根川・古川	阿武隈川水系 伝樋川
作成主体	国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所	国土交通省 東北地方整備局 摺上川ダム管理所	福島県	福島県	福島県
指定（公表）年月日	令和2年3月27日	令和2年8月31日	令和3年10月12日	令和3年10月12日	令和3年10月12日
指定（算出）の前提となる降雨	福島流域の2日間の総雨量323mm、岩沼流域の2日間の総雨量317mm	摺上川流域の48時間の総雨量677mm	広瀬川流域の24時間の総雨量522mm	東根川流域の48時間の総雨量917mm	伝樋川流域の24時間の総雨量747mm

伊達市 全図